

## 今日のシライ中

白井の愉快的仲間たち

VOL.7

## ハナムグリ

以前この白井中学校ホームページの写真で紹介されていた美しい甲虫「ハナムグリ」を紹介します。

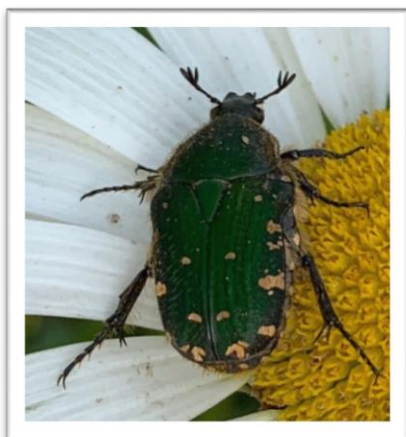
コロンとした愛らしい姿。濃いお抹茶のような色合いに、白の斑点が点在しているおしゃれなデザイン。(本体の色に幅はありますが・・・) カナブンの緑バージョンだと思ってもらえれば、大丈夫です。

さて、この虫の名前のいわれはご想像通り、「花に潜り込む」から「ハナムグリ」です。先だって、職員室に入ってきた「ハナムグリ」が、運悪くサッシの溝でひっくり返ってしまいました。溝の幅にピッタリだったので、自力で戻るのは難しそうです。逃がしてあげようと近づいてみると、そのお腹にまっすぐ1本の**蛍光ピンク**のライン。そうです、あの**ラインマーカーの「ピンク」**です。びっくりして、しばし、観察していると、もぞもぞ動くその動きに合わせて、「**ピンク**」がちらちら動きます。その美しさと言ったら！これは、甲虫類に特に多くみられる「**構造色**」といわれる現象です。難しそうだな～なんて思わないでくださいね。

この現象は、私たちの身近なものにもみられる現象です。たとえば、「シャボン玉」。シャボン玉の表面をよく見ると、光の当たり具合で、虹色に反射してきれいです。あるいは、CDの虹色。これが「**構造色**」。



職員室のハナムグリ



多くの生物は、自分自身に色がついていますが、この「**構造色**」の生物は、自分自身に色はついていません。自分に当たる光の波長が干渉するため、きらきら虹色に輝きます。

有名な「玉虫厨子」。飛鳥時代に作られたとされるこの厨子には、たくさんの「タマムシ」の羽が貼り付けられていたとされています。現在は、ほとんど羽が取れてしまっているようですが、驚いたことに、この「タマムシ」の羽は、時間が経っても退色しません。それは、この虫の羽も「**構造色**」だからです。自分で発色しているわけではないので、色落ちすることがない、究極のおしゃれです。